
第4回モニタリング会議 ご説明資料 (2015年4月～2015年9月業績報告)

2015年12月9日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

計画と実績の対比（全社PL）

全社の2015年4月～9月実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数字は、旅行業（とさでんトラベル）との合算であり、とさでん本社との合算数値となります

単位：百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～2015/6	2015/7～2015/9	2015/4～2015/9	進捗率 (④÷①)
	12ヶ月 計画①	3ヶ月 実績②	3ヶ月 実績③	6ヶ月 実績④(②+③)	
売上高	5,731	1,470	1,531	3,001	52%
売上原価	666	198	178	376	56%
差引収益	5,065	1,272	1,353	2,625	52%
人件費	2,648	595	698	1,293	49%
厚生費	304	80	100	180	59%
動力費	534	98	104	202	38%
修繕費	308	82	75	157	51%
物件費	120	27	32	59	49%
経費	1,009	224	255	479	47%
諸税	105	20	20	40	38%
減価償却費	425	102	95	197	46%
営業費計	5,454	1,228	1,379	2,607	48%
営業利益	-389	44	-26	18	-
営業外収益	56	36	23	59	106%
営業外費用	78	27	15	42	54%
経常利益	-411	53	-18	35	-
特別利益	470	4	37	41	9%
特別損失	138	18	66	84	61%
税引前当期純利益	-78	38	-46	-8	-
法人税等	2	-	8	8	-
当期純利益	-80	38	-54	-16	-

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

<差異要因等>

- ✓ 経常利益
 - 売上高は計画を若干上回り推移。軽油単価の低位推移により、路線・高速・貸切バス等の動力費が低減したことなどから、第2四半期経過時点で営業利益18百万円、営業外での業務委託料収入などにより経常利益35百万円の黒字計上
- ✓ 特別利益
 - 軌道委託工事預り金精算28百万円、計画上年度末一括計の路線バス補助金一部7百万円、遊休不動産売却(いの町)5百万円等
- ✓ 特別損失
 - 事業再生関連費用56百万円、軌道委託工事固定資産圧縮損28百万円
- ✓ 当期純利益
 - 第2四半期経過時点での税引き後当期利益▲16百万円の赤字計上

<主な勘定科目の説明>

- ✓ 動力費…軌道動力費、バス軽油費等
- ✓ 修繕費…軌道、バス事業における各種修繕等
- ✓ 物件費…水道光熱費、備用品等
- ✓ 諸税…固定資産税、自動車税等
- ✓ 減価償却費…固定資産償却、のれん代償却
- ✓ 営業外収益…受取配当金、業務委託料等
- ✓ 営業外費用…支払利息等
- ✓ 特別利益…補助金等
- ✓ 特別損失…事業再生関連費用等

計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2015年4月～9月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位: 百万円 <差異要因等>

	2015/4～2016/3 12ヶ月	2015/4～2015/6 3ヶ月	2015/7～2015/9 3ヶ月	2015/4～2015/9 6ヶ月	進捗率 (④÷①)
	計画①	実績②	実績③	実績④(②+③)	
売上高	1,128	294	298	592	52%
売上原価					-
差引収益	1,128	294	298	592	52%
人件費	757	177	209	386	51%
厚生費	87	24	31	55	63%
動力費	197	35	38	73	37%
修繕費	120	31	31	62	52%
物件費	29	4	9	13	45%
経費	164	31	47	78	47%
諸税	25	6	2	8	32%
減価償却費	60	18	19	37	61%
営業費計	1,439	326	386	712	49%
専属営業損益	-311	-32	-88	-120	-
減価償却前専属営業損益	-251	-14	-69	-83	-

✓ 売上高

- 計画を上回る進捗で推移

✓ 費用

- 人件費は、ほぼ計画どおりの進捗
- 厚生費は、科目計上ルール変更に伴う増加
- 動力費は、軽油単価の低位推移による減少
- 修繕費は、ほぼ計画どおりの進捗
- 物件費・経費は、10月以降に計上予定の費用を踏まえるとほぼ計画どおりの進捗
- 減価償却費は、計画に対しバス車両2両前倒し導入による増加（2015年4～9月に導入予定の2台を2015年3月期に前倒し）

✓ 専属営業損益

- 売上が上回っていること、及び動力費低減等の費用減により、計画を上回る進捗で推移

<専属営業損益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2015年4月～9月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位: 百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～2015/6	2015/7～2015/9	2015/4～2015/9	進捗率 (④÷①)
	12ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	
	計画①	実績②	実績③	実績④(②+③)	
売上高	1,000	256	272	528	53%
売上原価					-
差引収益	1,000	256	272	528	53%
人件費	558	131	155	286	51%
厚生費	70	18	23	41	58%
動力費	77	18	21	39	50%
修繕費	46	10	13	23	50%
物件費	22	5	6	11	49%
経費	60	13	17	30	50%
諸税	15	2	1	3	19%
減価償却費	48	11	11	22	46%
営業費計	898	208	247	455	51%
専属営業損益	102	48	25	73	72%
減価償却前専属営業損益	150	59	36	95	63%

＜差異要因等＞

- ✓ 売上高
 - 計画を上回る進捗で推移
- ✓ 費用
 - 人件費は、ほぼ計画どおりの進捗
 - 厚生費は、科目計上ルール変更に伴う増加
 - その他項目については、ほぼ計画どおり推移
- ✓ 専属営業損益
 - 売上が上回っていることから計画を上回る進捗で推移

＜専属営業損益とは＞

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

路線バスの2015年4月～9月利用状況は、収入はほぼ前年並みを確保、IC利用客数は前年比97%で推移

- 本表は運送収入のみ
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

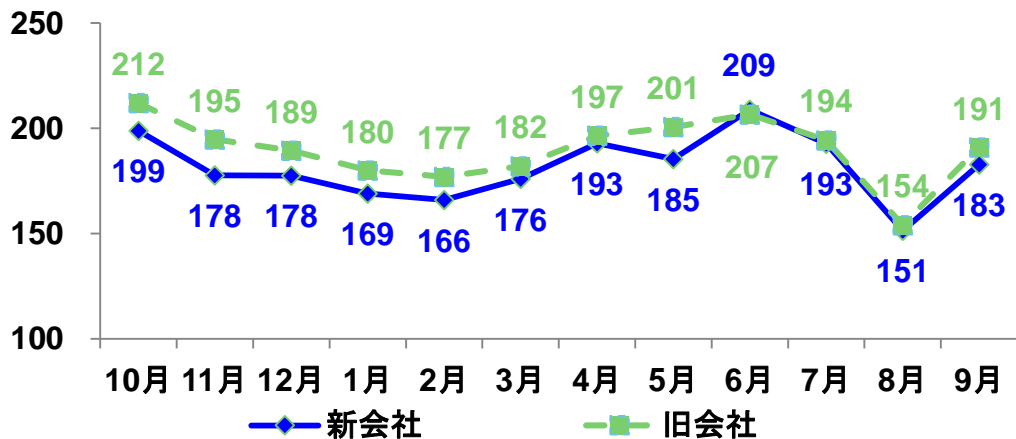
	2015/7～2015/9 3ヶ月 実績	2014/7～2014/9 3ヶ月 前年同期	2015/4～2015/9 6ヶ月 実績①	2014/4～2014/9 6ヶ月 前年同期②	前年 同期比 (①÷②)
運送収入	291	292	579	583	99%
①定期全体	60	62	124	129	96%
②定期外収入	231	230	455	454	100%
うち、現金収入	130	126	248	242	103%
うち、SF	101	103	206	211	98%

※SFとは、ICカードに貯められた運賃のこと

＜路線バス収入の増減要因＞

- ✓ 2014年10月1日とさでん交通スタート時のダイヤ改正にて▲2.5%の減キロダイヤ改正を実施
- ✓ 2015年4月～9月の雨天日が前年比+16日となった影響等により、現金収入が増加
- ✓ 定期は通勤・通学共に減少。2015年4月から新たに定期ワイドフリー家族割引を導入中。
- ✓ 新会社設立後1年間累計の運送収入は1,132百万円、前年同期は1,161百万円であり、前年同期比98%

＜利用客数推移＞ 単位：千人



＜利用客について＞

- ✓ 人員はICカードのデータのみであり、定期・SF収入と同様の傾向
- ✓ 6月は前年比上回るが、6月以外は下回り推移
- ✓ 6ヶ月累計の今期利用客数は1,114千人、前年同期は1,143千人であり、前年同期比97% (ICカード利用客数)
- ✓ 新会社設立後1年間累計の利用客数は2,180千人、前年同期は2,279千人であり、前年同期比96% (ICカード利用客数)

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約70%

公共交通利用状況（軌道）

軌道の2015年4月～15年9月利用状況は、収入は前年比105%、IC利用客数前年比101%で推移

- 本表は運送収入のみ
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位: 百万円

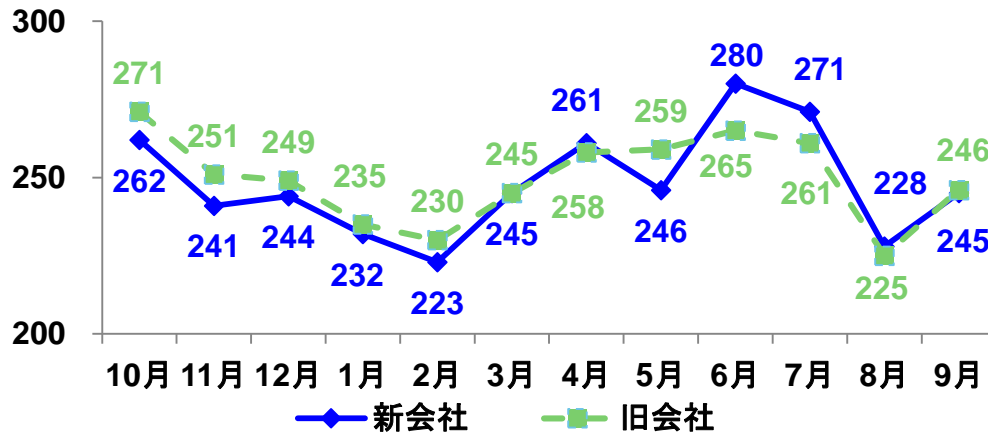
	2015/7～2015/9	2014/7～2014/9	2015/4～2015/9	2014/4～2014/9	前年 同期比 (①÷②)
	3ヶ月 実績	3ヶ月 前年同期	6ヶ月 実績①	6ヶ月 前年同期②	
運送収入	250	241	485	464	105%
①定期全体	64	61	129	123	105%
②定期外収入	186	181	356	341	105%
うち、現金収入	125	120	234	220	106%
うち、SF	61	60	123	121	101%

※SFとは、ICカードに貯められた運賃のこと

<軌道収入の増減要因>

- ✓ 定期、定期外ともに増加
- ✓ 2015年4月～9月の雨天日が前年比+16日となった影響等もあり、現金収入が大幅に増加
- ✓ 新会社設立後1年間累計の運送収入は927百万円、前年同期は914百万円であり、前年同期比101%

<利用客数推移> 単位: 千人



<利用客について>

- ✓ 人員はICカードのデータのみではあるが収入と同様の傾向
- ✓ 27/4月以降、5月・9月は前年比下回るが、それ以外は上回って推移
- ✓ 6ヶ月累計の今期利用客数は1,531千人、前年同期は1,514千人であり、前年同期比101% (ICカード利用客数)
- ✓ 新会社設立後1年間累計の利用客数は2,978千人、前年同期は2,995千人であり、前年同期比99% (ICカード利用客数)

※定期については、前回報告まで発売日単位で集計を行っていたが、今回報告分より利用実績による集計へ変更
前年数値も同数値へ変更

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC利用率は約50%

公共交通取組状況

路線バスと軌道のこれまでの取組施策は以下のとおりです。また、路線バスの路線別収支につきましては、前年6ヶ月分で作成したものを現在社内にて分析中。今後は、年間データを基に、これまでの算出方法も検証しつつ年間路線別収支を作成する。

<取組施策>

内容	路線バス	軌道
■2015年4月1日以降 ※2015年9月30日まで		
1. 学生ワイドフリー”家族割”定期券の発売開始	○	○
2. 移動手段に関するアンケート調査	○	○
3. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちよろ〉	○	○
4. 婚活電車の運行	-	○
5. 電車の日イベント開催	-	○
6. 高校県体応援一日乗車券の販売	-	○
7. ICですかナイスエイジキャンペーン実施	○	○
8. 春・夏・冬休み！キッズ定期券販売開始 7月14日から	○	-
9. サイクル&ショップライドの取組	○	○
■2015年10月1日以降 ※2015年11月30日まで		
1. ダイヤ改正(長浜地区フィーダー実証実験を含む)	○	-
2. 障害者割引の拡大	○	○
3. 高齢者割引の拡大	○	○
4. 婚活電車の運行	-	○
5. ローラー活動(後免地区・介良潮見台地区)	○	○
6. 鉄道の日 棧橋車庫見学会	-	○
7. 電車・バス乗り方教室(イオンモール高知)	○	○
8. ICですか体験(シニア交通安全フェスタ・高知県警)	○	-
■2015年12月1日以降 ※2016年3月31日まで		
1. 子供向け乗り方教室実施	○	○
2. 高齢者への利用促進活動	○	○
3. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちよろ〉	○	○
4. 2016年10月1日ダイヤ改正に向けた基礎データ収集	○	-
5. バス停の改修 60基(予定)	○	-
6. 初詣、神社・仏閣巡り乗車券	○	○

<路線バスの路線別収支の取組状況>

まずは、半期データにより作成(2014.10月～2015.3月)

路線別の収支算出について、直接・間接経費を細かく系統別に算出し、路線毎の収支の可視化について、下記の要素等を踏まえ、前年6ヶ月分を基に作成し、現在社内にて分析中。

- 運送収入
 - ⇒ ICカードのSF利用者、ICカードの定期券利用者、現金他(IC以外の収入)
- 運行経費
 - ⇒ 乗務員人件費、動力費(軽油費)、他直接費、間接経費



次に、年間データにより作成(2014.10月～2015.9月)

2015年4月～15年9月の公共交通設備投資は、以下表のとおりです

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	総投資予定額	主な投資内容	投資予定額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	107	補助車両(5両)の購入	107	0	安全安心	前年度に、当年度上期の2両を先行して購入(44百万円)
		その他	0	1	安全安心	リースアップ車(1両)の購入他
軌道	139	レールの重軌条化工事	50	0	安全安心	現在、工事中
		き電線改良	11	0	安全安心	現在、工事中
		踏切保安設備工事	10	0	安全安心	現在、工事中
		電柱建替工事	7	0	安全安心	現在、工事中
		IP無線システム他	61	9	安全安心他	■※ ¹ トラバーサの機能向上 ■※ ² ホイストの購入他
合計	246			10		

※¹トラバーサとは、転車台

※²ホイストとは、吊り下げ式クレーン